

櫛平薬師堂くぬきだいら

御代田、櫛平の小高い山の頂きにある御堂が薬師

櫛平薬師如来像



如来を祀る薬師堂です。

一 本尊の薬師如来像は、三十センチの木製、金の漆塗で立派なものです。仏像に記された文字から京都で造られ、何かの機縁で当地に祀られることになっ

たものと思われます。本像はもともと個人宅にあつて拜まれ、守護仏として親しまれてきたもののよう
にみられます。現在も常時は近くの高木家に安置されて
います。

信達二郡村誌には「本尊仏薬師如来文治二年丙午
泉三郎忠衡建立すと云伝う」と記されていますが、
糠田の薬師堂と混同しているようです。また、この
薬師如来を祀るようになったいわれとして、江戸
時代に仇討ちの件で生き埋めになった老婆があつて
その霊を慰めるために、生前信仰していた薬師如来
像をお祀りしたのだという話も残っています。この
老婆が生き埋めになったところは、この堂から西へ
五〇〇メートルほどのところにある石塚だといわれ
ていて、今も参詣人が香花を手向けております。こ
の周囲も今では畑になっていますが、いくつかの屋
敷跡です。

この薬師堂の周囲には廿三夜、庚申の石塔が立ち
地域の人の信仰の姿を偲ばせてくれます。